

エヌ・ケイ・テクノ 株式会社 ●横浜市神奈川区

住宅・設計・施工

事務所・複合施設

教育・スポーツ施設

商業施設・飲食店舗

医療・福祉施設

宿泊・温浴施設

産業

贈呈理由 積極的な提案・施工により、ヒートポンプ給湯システムの普及に貢献



介護老人保健施設 ライフモア保土ヶ谷



貯湯槽、ボイラ



業務用ヒートポンプ給湯機

エヌ・ケイ・テクノ株式会社は、1965年の創業以来40年以上にわたり、神奈川県内を中心に空調・電気・給排水衛生設備の設計施工を手掛けている。一般的な建築設備工事とは一線を画し、「空気と水で人にやさしい環境を提供する」という考えを基にして、電気設備を含めたすべての建築関連設備を環境設備として捉え、顧客の要望にあわせた省エネ提案・コンサルティングに積極的に取り組んでいる。

その要望に応えるため、同社では従来の設備構成にとらわれずに新たな視点から、「ヒートポンプ給湯システム」を活用した省エネ、省コストの提案を積極的に展開している。特に、給湯使用状況の負荷変動が大きく湯切れのリスクがある施設や機器設置スペースに制約のある施設では、業務用ヒートポンプ給湯機とボイラを組み合わせた「ハイブリッド給湯システム」を導入する事例が多い。

のボイラシステムからハイブリッド給湯システムにリニューアルした。

その改修工事では国土交通省「建築物省エネ改修推進事業」の採択を受けており、空調設備と照明設備の省エネ対策以外にも、独自の「電気の見える化」システムを組み合わせることにより、さらなる省エネ、省コストの提案をすすめていく。

お客さまのニーズにあわせ、積極的に蓄熱システムを提案

同社がリニューアルを数多く手掛けている福祉施設、旅館(ホテル)などでは、入浴サービスなどによる給湯使用量が多いため、給湯に多くの燃料を消費している。そこでは昨今の燃料価格の高騰によりコスト負担増が大きな課題となっており、改修工事にあわせたコスト低減方策の提案ニーズが高い。

ハイブリッド給湯システム導入で省エネ・省コストを実現

同社が改修工事の設備設計・施工を手掛けた介護老人保健施設「ライフモア保土ヶ谷」は、横浜市北部に位置し99年に開設した施設である。開設後10年以上を経過し、設備の老朽化によるメンテナンスや故障修理の費用増加、および燃料負担が課題となっていたことから、大規模改修工事にあたって従来

主な蓄熱設備導入事例

- ライフモア保土ヶ谷(老健施設)**
2011年
ハイブリッド給湯システム
業務用ヒートポンプ給湯機18kW、貯湯槽750ℓ、ボイラ630,000kcal/h
- ホテル マイユール祥月(宿泊施設)**
2013年
ハイブリッド給湯システム
業務用ヒートポンプ給湯機15kW×3台、貯湯槽10,000ℓ、ボイラ400,000kcal/h×2台
- 旭ホーム(特療)**
2013年
ハイブリッド給湯システム
業務用ヒートポンプ給湯機18kW、貯湯槽3,000ℓ、ボイラ150,000kcal/h